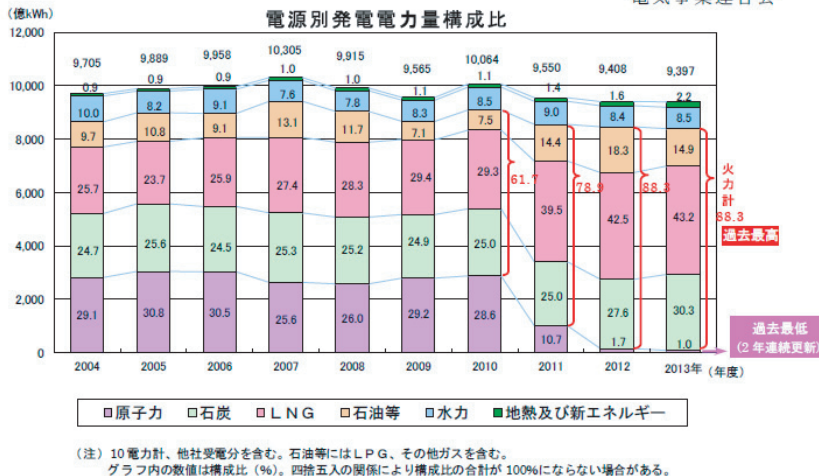


# 原発なくとも困らない 2014/6/19 大津いっお

原発なくすと経済が破綻する。 → **原子カムラが破綻する**  
 停電であちこちで人が死ぬ。 → **停電は起こってない**

2014年5月23日  
電気事業連合会



現在日本はすでに原発のない社会になっています。左の電事連作成、日本の発電構成比グラフを見ても2013年には原発は1%、新エネ2.2%再生可能エネルギーの半分です。2013年9月から日本は全原発が止まっています。ゼロです。逆に2013年の日本の太陽光投資額は世界一の2兆円で新規設置発電設備は5.3GW (530万kw) です。原発の発電はゼロ、それに変わって太陽光発電の設備が原発5基分新設された。それが今の日本社会の現実です。太陽光発電は設置すればすぐに発電開始し365日休まず発電し続けます。原発のように定検や耐震補強や事故で長期間停止することはありません。主要電源とは365日発電してくれる信頼できる電源のことであり、原発のような停止ばかりしている当てにならない電源ではありません。原発は発電設備としてみれば、どうでもいい補助電源の位置しかありません。それは電力会社が一番よく知っています。

それでは日本の原発の現状を考えてみましょう。日本は関電の大飯原発を除けば2012年に全ての原発が止まり2年が経過しました。日本の電力会社は地域独占体制なので現状を地域ごとに見る必要があります。まず原発を動かした関西電力管内とその他の地域で経済格差が発生しているのでしょうか？停電が発生しているのでしょうか？そんなものは発生していません。

このグラフは**北陸電力**の過去8年間の原発稼働率です。

**8年間で5年間発電実績ゼロ**です。もし原発なくすと経済が破綻するなら北陸地方は破産・倒産で悲惨な状態のはずです。僕は過去8年間に10回以上石川富山県にいますが、経済恐慌も停電も一度もみたことがありません。またそのようなニュースも知りません。北陸電力の志賀原発は福島事故以前から停止を続け、北陸地方の経済を悪化させているはずなのに影響は出ていません。志賀原発は3.11福島事故以後3年間現在まで停止中ですが、発電設備として全く当てにできない地位を確立していたので北陸電力にとっても北陸地方にとっても影響は皆無です。すでに北陸電力は**脱原発を達成**しています。

| 年度(平成) | 設備利用率 (%) | 発電電力量 (100万kWh) | 発電時間 (時間) |
|--------|-----------|-----------------|-----------|
| 18年度   | 69.3      | 3,276           | 6,042     |
| 19年度   | 0.0       | 0               | 0         |
| 20年度   | 0.0       | 0               | 0         |
| 21年度   | 98.5      | 4,659           | 8,527     |
| 22年度   | 63.5      | 3,004           | 5,543     |
| 23年度   | 0.0       | 0               | 0         |
| 24年度   | 0.0       | 0               | 0         |
| 25年度   | 0.0       | 0               | 0         |

## 東京電力の場合

事故前 福島10基、新潟7基、青森1基建設中 → 合計18基  
 事故後 福島10基廃炉、青森建設放棄、新潟7基停止稼働ゼロ

東京電力は17基の原発を保有していたが2007年の地震で柏崎刈羽全基を停止、その後現在まで2~4号は停止したままで実質廃炉状態、そして3.11爆発で福島10基を失い。現在再稼働できるのはMAX4基しかありません。すでに東京電力にとって原発は主要な当てにできる発電設備ではなく、なくとも困らない補助電源でしかありません。今、関東で停電と経済悪化が起こっているのでしょうか？再稼働を強行するとしても4基が最大でこの状態は10年以上続きます、東京電力も**脱原発を達成**していることが実績データをみればわかります。早く「停止」を「廃炉」にして保守費用を削減し無駄金を使わないことが利益を増やすには一番重要です。

柏崎刈羽原子力発電所の運転状況(平成19年度)

| 機       | 発電電力量<br>100万kWh | 平成20年3月末 |      |      |     |     |     |     |     |     |     |     |     |
|---------|------------------|----------|------|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
|         |                  | 4月       | 5月   | 6月   | 7月  | 8月  | 9月  | 10月 | 11月 | 12月 | 1月  | 2月  | 3月  |
| 1号機     | 810              | 76       | 0    | 0    | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   |
| 2号機     | 0                | 0        | 529  | 105  | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   |
| 3号機     | 807              | 833      | 801  | 413  | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   |
| 4号機     | 807              | 832      | 805  | 413  | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   |
| 5号機     | 0                | 0        | 0    | 0    | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   |
| 6号機     | 865              | 0        | 0    | 0    | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   |
| 7号機     | 1006             | 1037     | 1001 | 513  | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   |
| 月合計     | 4264             | 2770     | 3133 | 1444 | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   |
| 設備利用率 % | 72.6             | 45.5     | 53.0 | 23.6 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |

**柏崎刈羽2~4号は2007年から停止中、実質廃炉状態**